



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

# SS部数学班論文優秀賞

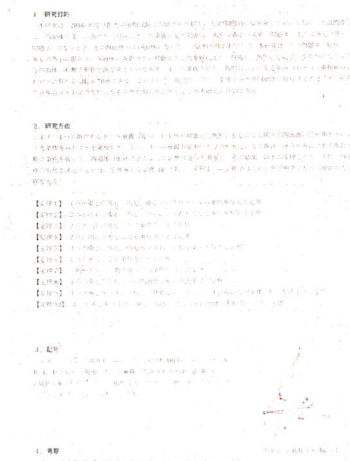


▶受賞の喜びを見せる細井君(左)と柴田君

## 初めての作成で受賞

本校SS部数学班の柴田昌臣君(2-1)と細井星也君(2-3)が「頂点の対面への正射影が三角形の五心になる四面体の形状」という論文が第15回神奈川大学理科・科学論文大賞で優秀賞を受賞した。また授賞式は3月に神奈川大学にて行われる予定だ。

受賞が決まった時の感想を細井君は「研究を始めたころはそこまですごい研究とは思っていなかった。なので受賞できてうれしい」と喜びをあらわにし、柴田君は「今まで研究を論文にしていたのは理科の部門が多かったの。今年は数学で取ることができてうれ

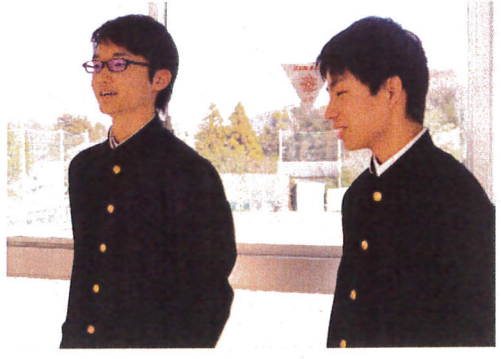


▲2人が製作した論文(抜粋)

今後の数学班としての目標を細井君は「全職員が参加する予定の、1月に開催される数学オリンピックの予選を目標としている」と柴田君は「これからは1年生の研究がメインになるが、2年生もいろんな大学の数学の研究をしていけたら面白いと思う」と見据えた。

しい。この調子で来年も数学で受賞したい」と笑顔を見せた。  
SS部数学班は今年度より顧問になられた高橋英知先生の勧めにより数学の論文を作成することになったそうだ。  
細井君は「受賞には高橋先生の力が大きく関わっている。自分たちで考えてもわからなかったことも相談することができたので本当に感謝している」と思いを話した。  
数学の楽しいところを細井君は「自分たちが考えていくだけで進めていくことができるところ」と述べ、柴田君は「一つひとつの事柄や複雑なものが絡み合ってきたり、解けるようになることだ」と微笑んだ。また細井君は「三角形の傍心と垂心の性質を組み合わせるのが面白かったし、そこから三角形の外側にできる正四面体につながっていくところが楽しかった」と論文

作成の楽しさを話し、柴田君は「論文を書いていく中で三角形の五心の性質の組み合わせが複雑だったけど、最終的にきれいにまとめることができたところが面白かったので注目してほしい。また数学の問題集には答えがあるが論文には答えがないので、作成中に不安に思うことがあった」と苦労した点を話した。



▶数学の魅力について語る細井君(左)と柴田君